

## ガントリークレーン 取扱説明書

【品番】 EC-6

この度は、KIKAIYA「ガントリークレーン」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- \* 本書を最後まで必ずお読みいただき、商品を正しく組立て安全にご使用ください。
- \* 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。



コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3

(MAIL) info@kikaiya.com

# 「ご注意」

---

この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。

ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してからご使用ください。

適切な取り扱いで本機の性能を十分発揮させ、安全な作業をしてください。

本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。

本機を本来の使用用途以外の目的で使わないでください。(本製品の改造はしないでください)

## ■開封時

商品が届きましたら、ただちに開封し次の項目を確認してください。

- ✓ ご注文商品と仕様に違いがないか。
- ✓ 輸送中の事故等で破損、変形等していないか。
- ✓ パーツ品等に不足がないか。

万一不具合(パーツ品の欠品、破損、動作不良等)が発見された場合は、すぐに販売店へご連絡ください。

※商品は到着しましたら7日以内に必ず開封して中身をご確認ください

(本書記載内容は、改良のため予告なく変更する事があります)

(P.11の注意事項を必ずご確認ください)

## ■調査及び修理をご依頼の前に

\* 故障とお考えの前に、弊社までご相談ください。

改造により故障及び損傷した場合は修理対応できませんのでご注意ください。

\* 調査を依頼される際の送料は、お客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

## ■目次

### 「ご注意」

開封時／修理依頼につて・・・1

安全上の注意事項・・・2

使用上の注意事項・・・3

### 「仕様」

製品の仕様・・・ 4

各部の名称・・・ 4

### 「組立て方法」

組立て手順・・・5～8

### 「使用方法」

高さを変える・・・9～10

### 「保守・点検」

作業前点検・・・11

## 安全上の注意事項

- ◆ 許容荷重以上の荷を吊り上げないでください。  
ケガ・故障の恐れがあります。  
最大積載荷重は、チェンブロック等の巻上機、荷物を含む吊り上げ荷重です。
- ◆ 本機を人間の運搬用など、使用用途以外の用途には使用しないでください。  
ケガ・故障の恐れがあります。
- ◆ 使用するチェンブロック等の取扱説明書もよく読んでから使用してください。  
使用するチェンブロックによって法的義務が発生し、有資格者もしくは届出が必要になる場合があります。
- ◆ 吊り上げ時、吊り荷を揺らしたり、吊り荷に乗ったりしないでください。  
ケガ・破損・転倒の恐れがあります。
- ◆ 分解・改造は絶対に行わないでください。  
ケガ・故障の恐れがあります。
- ◆ 柔らかい地面や傾斜面では使用しないでください。  
破損・転倒の恐れがあります。  
砂や砂利等の不安定な場所は、本体が不安定となり荷物の落下や転倒により故障やケガの恐れがあります。
- ◆ 斜面、穴、凸凹、破片、滑りやすい地面や床面などでの使用はしないでください。  
破損・転倒の恐れがあります。
- ◆ 吊り荷の下には入らないでください。  
ケガ・故障の恐れがあります。
- ◆ ボルトやナットが緩んでないか、使用前に必ず確認してください。  
使用中に破損・転倒等により重大なケガに繋がる恐れがあります。
- ◆ 組立てたガントリーをフォークリフトやクレーンで持ち上たり、移動させないでください。  
破損・転倒の恐れがあります。
- ◆ 結果の予測できない、または確信の持てない取扱いは行わないで下さい。  
ケガ・故障の恐れがあります。
- ◆ 維持管理のために、定期的に各部の点検を行って下さい。

## 使用上の注意事項

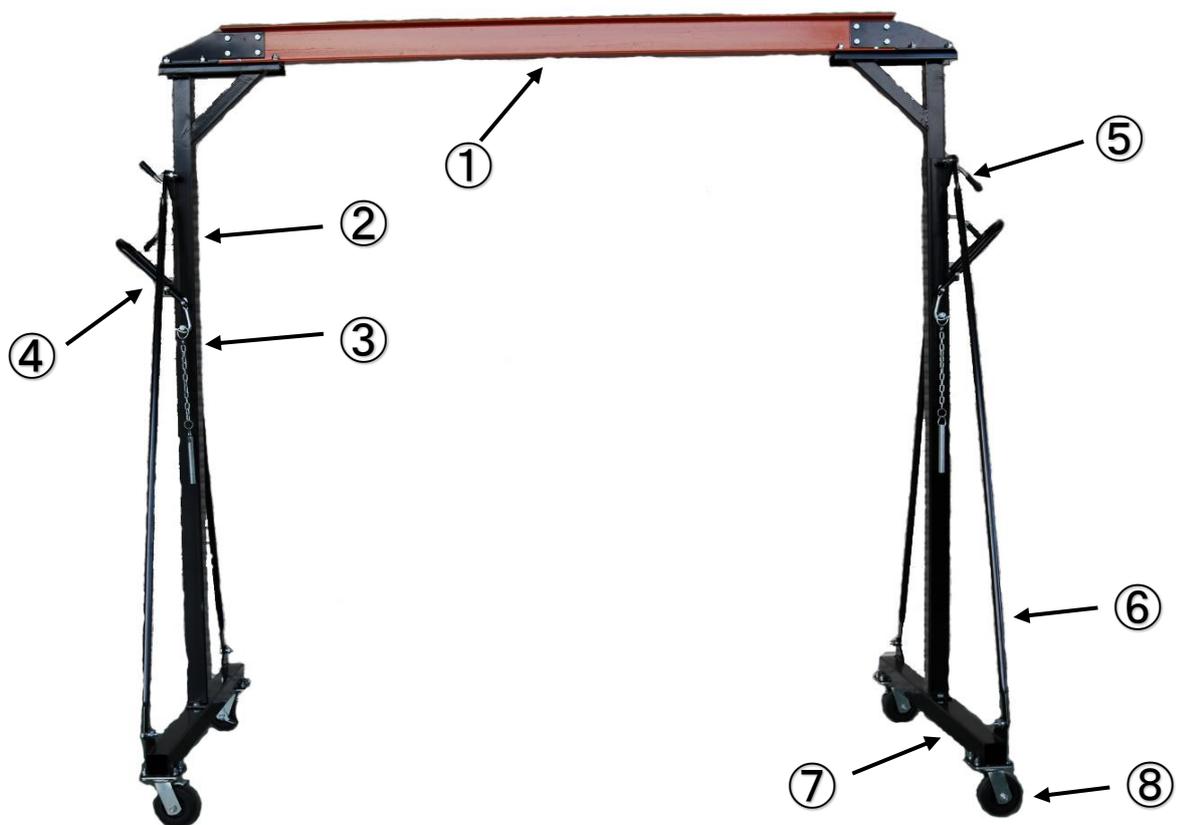
- ◆ 適切な保護具(ヘルメット・手袋・安全靴など)を着用してください。  
ケガや事故の恐れがあります。
- ◆ 本機を落とす/ぶつける等があった場合は破損・亀裂・変形などがないか点検してください。  
ケガや事故の恐れがあります。
- ◆ 関係者以外は、作業場所に近づけないで下さい。特にお子様には十分注意して、絶対に触らせないで下さい。  
ケガや事故の恐れがあります。
- ◆ 体調が万全でないときは、操作しないでください。  
ケガや事故の恐れがあります。
- ◆ 本機を使用しないときは、乾燥した場所で子供の手の届かない、または鍵のかかる場所に保管してください。  
ケガや事故の恐れがあります。
- ◆ 荷を吊上げた状態で本機から離れないでください。  
ケガや事故の恐れがあります。
- ◆ 荷を吊上げる時は車輪のブレーキをしっかりとかけて使用してください。  
ケガや事故の恐れがあります。
- ◆ 作業場所は整理・整頓し、いつもきれいな状態で十分な明るさを保ってください。  
ケガや事故の恐れがあります。
- ◆ 荷を吊上げる時は、吊り上げ機から真下の物を垂直に吊上げてください。  
ケガや転倒・事故の恐れがあります。
- ◆ 荷の重心が偏らないようにしてください。  
ケガや転倒の恐れがあります。

# 「仕様・各部名称」

## 【仕様】

本体サイズ(組立時)	縦 1200×横 2530×高さ 2520～3720mm(12段階高さ調整可能)
本体重量(梱包重量)	128kg(147kg)
許容荷重	500kg
全幅	2800mm(ハンドルを閉じた状態)
トップビームサイズ	高さ 120×幅 75mm
車輪	125×40mm(ウレタン車輪)

## 【各部名称】



- ① トップビーム
- ② 支柱
- ③ 固定ピン (2個がチェーンで繋がられています)
- ④ 高さ調整持ち上げハンドル (高さ調整をする時に使います)
- ⑤ 高さ固定ハンドル
- ⑥ サポートバー
- ⑦ 下フレーム
- ⑧ ブレーキ付きキャスター

# 「組立て方法」

## 【注意】

- 必ず2人以上で組立て作業を行ってください。(組立てには工具が必要です)
- 下記作業手順に従って組立てを行ってください。
- 組立てが完了するまでボルト類は本締めせず、組立て完了後に全てのボルト類を増し締めしてください。
- 本体は脚部から組立てます。横倒しのまま支柱を取付けて最後に本体を起こし組立てを完成させます。

【 **重要** ※ボルト類の長さは「パーツリスト」(P.12)を参照してください 】

## ①【キャスターの取付け】

・「下フレーム(⑦)」に「キャスター(⑧)」を取付ける(左右/計4個)



## ②【トップビーム取付け】

・「支柱(②)」に「トップビーム(①)」を取付ける  
(画像のようにボルト固定する。 本体は横倒しのままの状態です)



### ③【支柱・サポートバーの組立て】

⚠ 本体は横倒しの状態で支柱・サポートバーを組立てます

1. キャスターを取付けた「下フレーム(7)」に「支柱(2)」を取付ける(左右/計2本)

※(支柱には重量がありますので、指/手などを詰めないように、十分注意して作業して下さい)

2. 「支柱(2)」と「下フレーム(7)」に「サポートバー(6)」を取付ける(左右/計4本)

※(取付け方向(向き)に注意する)

※(ボルト・ナットが確実に締まっているか確認する)

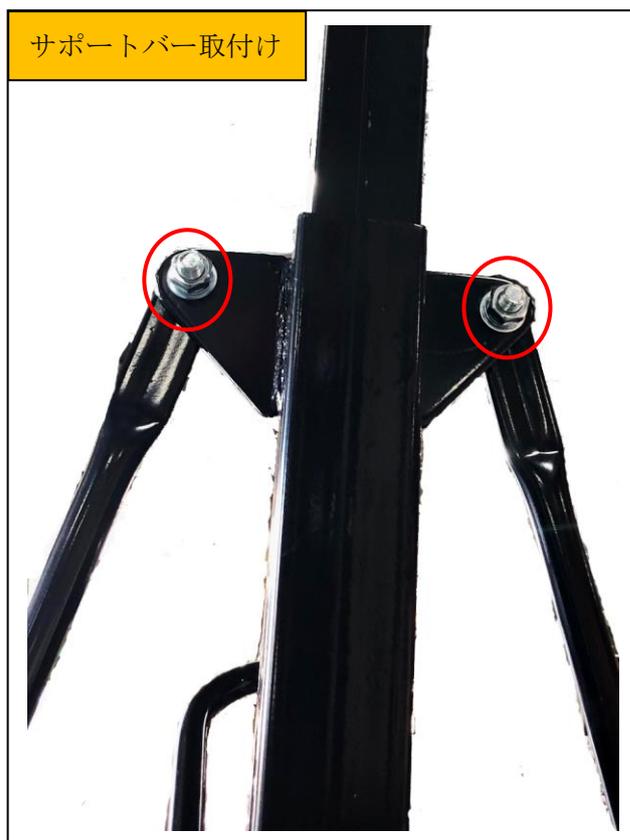
内側から見た時



外側から見た時



※三角の部分がフレームの外側に付くように、サポートバーを取付ける



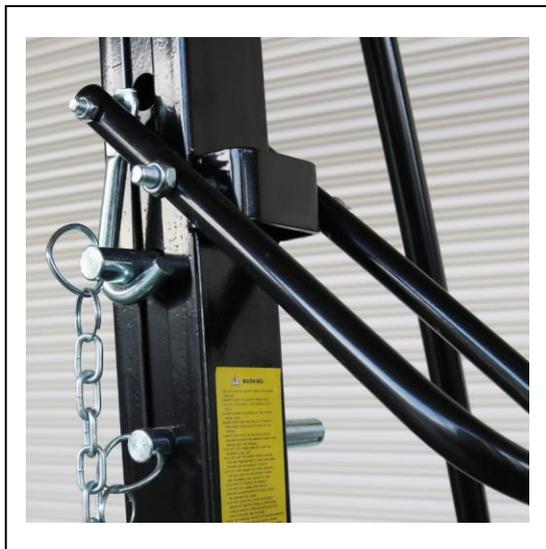
#### ④【おこす】

・男性数名：3～4名以上で本機をゆっくりと起こす

※（作業の前に、もう一度全体のボルト・ナットが確実に締まっているか確認して下さい）

## ⑤【ハンドルの組み図】

・「高さ調整持ち上げハンドル(④)」を組み立てる。



**拡大**

ハンドルの組み図(完了)



## ⑥【完成】

- ・サイドバーのボルト・ナットは使用中に緩む事がないようにして下さい。
- ・緩んだままでの使用は、重大な事故につながり大変危険です
- ・最後に全体のボルト・ナットが確実に締まっている事を確認して下さい。



# 「使用方法」

## 【注意事項】

- ◆吊り荷を付けた状態で高さを変えないでください。(転倒する可能性があります)
- ◆高さは左右交互に1段ずつ変えてください。
- ◆斜面など傾斜のある場所で高さ変更を行わないでください。  
(本機のバランスを崩して、転倒する恐れがあります)

## 【高さを変える/支柱を上げる】



1. ハンドルに付いているフックを固定ピン(③)にかける。
2. ハンドルを下に引き下げると支柱が上に伸びる。(1穴分)
3. 1段(1穴分)上げるたびに、固定ピン(③)を奥までしっかりと差し込む。



ピンを確実に入れるまで、  
ハンドルを持ってフレームを  
保持してください。



上記手順を左右交互に  
1穴ずつ繰り返しながら  
任意の高さまで上げていく。

## 【高さを変える/支柱を下げる時】



1. 固定ピン(③)をハンドル下の穴に挿し込む。(ピンが既に挿し込まれている場合はそのままよい)

2. 上記で入れたピンにフックをかけてハンドルをゆっくり下にさげ、下の固定ピン(③)を抜く。

3. ハンドルをゆっくりと上げると支柱が下にさがる。(1穴分)



上記手順を左右交互に1穴ずつ繰り返しながら任意の高さまで上げていく。

# 「保守・点検」

## 【作業前点検】

作業前に毎回点検し、異常がないことを確認してから作業してください

- ・ボルト・ナットが緩んでないか確認してください。
- ・キャスターブレーキが効いているか確認してください。
- ・高さ調整ピンが変形・破損していないことを確認してください。
- ・使用中は、ピンが確実に奥まで刺さっていることを確認してください。

## 【定期点検】

以下を1年に1回以上の頻度で点検を行い、異常がある場合は修理してから使用してください。

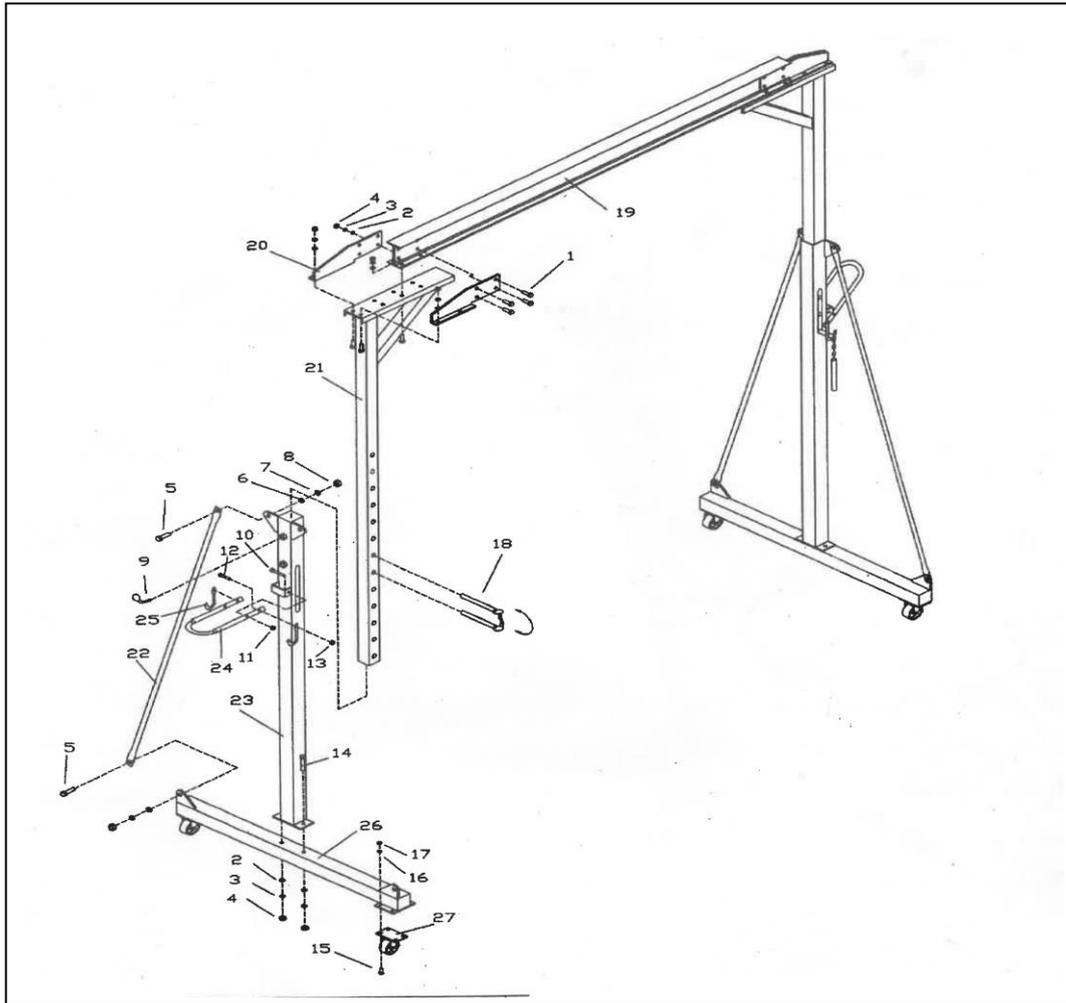
- ・ビーム、脚、キャスターなど変形がないか確認してください。
- ・溶接部に割れなど異常がないか確認してください。

## ※※※※ 注意事項(必ずご確認ください) ※※※※

梱包サイズを最小限にする為、「支柱(パーツ No. 21)」の1本は「下フレーム(パーツ No. 26)」の中に挿し込んだ状態でお届けをしております。上記2つのパーツは重なり合っている為、分かりづらいですが引き抜いてから組立てをお願い致します。



# 「パーツリスト」



パーツ	名称	数量	パーツ	名称	数量
1	ボルトM12×35	24	14	ボルトM12×100	4
2	φ12 ワッシャー	28	15	ボルトM10×30	16
3	φ12 スプリングワッシャー	28	16	φ10 スプリングワッシャー	16
4	M12 ナット	28	17	M10 ナット	16
5	ボルトM14×40	8	18	ピン	4
6	φ14 ワッシャー	8	19	トップビーム	1
7	φ14 スプリングワッシャー	8	20	プレート	4
8	M14 ナット	8	21	支柱(内側)	2
9	M12 ボルト	4	22	サポートバー	4
10	ボルトM10×60	4	23	支柱(外側)	2
11	M10 ナット	4	24	ハンドル	2
12	ボルトM8×40	4	25	ピン	4
13	M8 ナット	4	26	下フレーム	2
			27	キャスター	4